

## 苦手を見つけて主体的に学習する放課後教室

～ 和歌山県 みなべ町立上南部小学校 ～



みなべ町立上南部小学校では、2014年度より『みんなの学習クラブ』をご導入いただいています。授業でも先生方がプリントを配付する以外にも、補充学習として放課後の時間にパソコン教室を開放し、児童が自分でプリントを印刷して学習をしています。その放課後教室の取り組みをご紹介します。

### 放課後教室の開催内容

先生も無理なく、たくさん子どもたちが参加できる仕組みづくり

開催日：週1回（学期によって曜日を変更）  
 開催時間：3時45分～4時15分（30分）  
 対象学年：4～6年生（学期ごと希望制）  
 開催場所：パソコン教室  
 サポート：担任を持たない先生が交代で運営

たくさん児童が参加できるように、学期ごとに開催する曜日を変えています。あらかじめ、保護者に案内を出し、4～6年生対象に参加希望を募ります。6時間目終了後の30分間、パソコン教室を開放しています。担任を持たない管理職、IT、学習支援員の先生が交代で運営しています。一人の先生が、おおよそ3週に1度放課後のサポートをしています。



活用してよかったこと

#### ◆プリント作成の手間が減った

もともと補充学習として、放課後教室を開催していましたが、その際は先生がプリントを準備していました。『みんなの学習クラブ』を活用することで、児童が自分でプリントを印刷するので、先生のプリント作成の手間が大幅に減りました。また、解答もついているので、児童自身で答え合わせすることができまます。

#### ◆自学自習ができるようになった

これまで先生が用意していたので、受け身の学習でした。『みんなの学習クラブ』では、児童自身で印刷して学習を進められるので、まさに目指していた『自学自習』ができるようになりました。

『学習する空間』を児童がつくる

放課後教室では、児童が自学自習をするのが目的で開かれています。学期のスタート時に先生から伝えられるのは、『ここが学習をする場所であること』のみです。児童は教え合いながら学習をしています。とても声のボリュームが小さく、学習しやすい空間となっています。

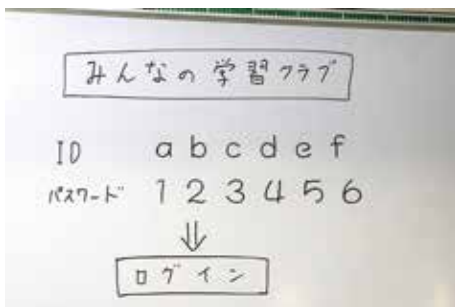
自分の苦手を知って学習する

児童はチャレンジシートを見て学習するプリントを自分で決めます。児童は、授業でまだ理解できていない単元やプリントがわかっています。パソコン教室に来るとすぐに、プリントを印刷して、黙々と学習を進めています。また、プリントがわからないときには先生に聞きます。

# 放課後教室の様子～30分の流れ～

## ログイン

パソコンの立ち上げと『みんなの学習クラブ』のログインページの準備を先生がしています。児童は座るとすぐにIDとパスワードを入力して、学習を始めます。IDはホワイトボードに書いています。



▲ ログインIDとパスワードは、ホワイトボードに書いておきます。



▲ 先生はログインページの準備まで、ログインは児童自身が行います。

## プリントを印刷

児童は自分の苦手な単元が自分でわかっています。自分で学習したいプリントを、定着・標準・発展のプリントから選んで印刷していきます。



▲ 定着・標準・発展のプリントから学習するプリントを選びます。



▲ 自分の苦手なところを中心にプリントを自分で決めます。

## 答え合わせ

プリントを解き終わったら、画面上で解答を表示し、自分で答え合わせをします。解答を見てもわからない場合には、先生に質問します。



▲ 答えを画面に表示して、自分で答え合わせをします。



▲ わからないときは、先生に聞きます。

## 学習の記録を残す

放課後学習に参加する児童には、チャレンジシートとファイルを配付しています。プリントができたら、取り組んだ日付を記入し、学習の記録を残します。



▲ プリントが終わったら日付を記録していきます。



▲ チャレンジシート／定着・標準・発展の欄と出席のシール欄

## 出席シールを貼る

終了の時間になれば、自分で判断して学習を終え、シールを取りに行きます。チャレンジシートの最終ページにある出席日にシールを貼り、ファイルを提出して帰ります。



▲ シールをもらって貼ります。



▲ ファイルを提出して帰ります。